

フレームワークスと日本オラクル 協業で情報システム基盤の開発に着手

フレームワークスが、情報システム基盤「物流プラットフォーム（仮称）」の開発に着手した。サプライチェーン全体のモノの流れをトータルに管理するうえで基盤となるシステムで、日本オラクルの情報処理ツールにフレームワークスのノウハウやロジックを組み合わせて構築する。

これまで、WMS（倉庫管理システム）をメインとするフレームワークスの製品がユーザーに提供できるのは、倉庫内業務や輸配送業務の効率化といった、サプライチェーンの部分的な最適化に留まっていた。

「ユーザーへのヒアリングやコンサルティングを通じて、社内には、サプライチェーン全体の最適化を実現するシステムの必要性を唱える声が以前からあった。だが、そうしたシステム構築には莫大な費用と労力がかかる。そのため、実現には至っていなかった」と、フレームワークスの降旗利弥執行役員マーケティング部長は明かす。

昨年、日本オラクルからSOA（サービス指向アーキテクチャ）製品のパートナーとして声をかけられたことがキッカケとなり、システム基盤の開発が一気に現実味を帯びた。「SOAのメリットは、情報処理

基盤を、作らずに使える。点。SOAを利用することで、コアの部分、例えばフレームワークスさんなら物流のノウハウが絡む部分の開発にリソースを集中できる」と、日本オラクルの遠藤哲アライアンスビジネス統轄本部ビジネス推進部ディレクターは説明する。

「物流プラットフォーム」が目指すのは、二種類の「見える化」だ。リアルタイムで状況を把握し迅速な対応につなげる「動的見える化」と、一定時点での情報を把握し最適プロセスの構築につなげる「静的見える化」を指す。機能の特徴としては、

導入済み実行系システムの変更を最小限に抑えての連携、複数の実行系システムのイベント処理の同時進行とその監視、大量なイベントの高速処理等が挙げられる。これらの機能を支えるのが、「BPEL」、「BAM」をはじめとするオラクル製品だ。既に、一部の既存顧客を対象に実運用を前提とした開発を開始しており、年内を目処に製品としての完成を見込んでいる。降旗執行役員マーケティング部長は、「現在、既存顧客と潜在顧客の両方に営業をかけている。なかなかの感触だ」と今後を期待を寄せている。

VIBRA[®]
Measure the Future

商品マスタ計測の効率改善!!

複雑な形状物や多様な商品の寸法・重量を
効率良く測定したい! ——
そんなご要望にお応えして、
正確・簡単・迅速な商品マスタの計測を実現します。



小物用重量計測機 **パーツスキャン PS-450**

ブリスタパッケージや複雑な形状物を正確に計測。商品マスタ測定に最適!



カート型重量計測機 **カートメジャー GM-750**

カート感覚でラクラク移動、簡単操作で重量・寸法測定ができます。



搬送型重量計測機 **メジャーボーイ MB-900シリーズ**

貨物の寸法・重量を瞬時に高精度計測。信頼と実績の貨物計測機の代名詞!

未来をはかる

新光電子株式会社

<http://www.vibra.co.jp>

本社・東京営業部 / 〒113-0034 東京都文京区湯島3-9-11 TEL:03-3831-1051 FAX:03-3831-9659 info@vibra.co.jp
関西営業部 / TEL:078-921-2551 名古屋営業部 / TEL:052-561-1138 [開発・製造] つくば事業所 関西事業所



ISO9001認証取得
JQA-2834つくば事業所